さわやかな田園都市 やぶき YABUKI-MACHI

# 矢吹町学校運営協議会だより

第　２　号　｜　２０２６．１０月発行

## 活発な「熟議」を行いました！！

１０月１日（木）１８：１５より、矢吹町複合施設（KOKOTTOホール）において「矢吹町学校運営協議会第２回全体会」が開催されました。会議では、各部会からこれまでの取組について発表が行われたほか、**「学校・家庭・地域で支えるこれからの学校づくり」**をテーマに熟議を行いました。

今回の熟議では、文科省が示している「学校と教師の業務の３分類」を参考に、学校だけが担うのではなく、家庭や地域と役割を分担しながら子どもたちを支えていくためには、それぞれがどのような役割を担うことができるのかについて、５つのグループに分かれて意見を交わしました。

どのグループも積極的に意見を交換しており、充実した熟議を行うことができました。

# グループごとの主な意見

### 学校・家庭・地域で支えるこれからの学校づくり！ ～「学校と教師の業務の3分類」から、それぞれの役割を考える～ グループの意見

## 「学校と教師の業務3分類」を参考に、「学校・家庭・地域」で担うことは？

### 【まとめ】まず取り組んでみたいこと

【Aグループ】
・子どもたちの放課後のクラブ活動。地域の人材を活用して子どもたちが取り組みたいことができるといいのではないか。地域クラブ等もできるといい。

【Bグループ】
・祖父母の力を借りることはどうか。朝の登下校や草むしりなどの環境整備を時間がある時にお願いできないか。また、授業での見守りが必要な児童の対応や不登校児童との関りなど。

【Cグループ】
・地域コーディネーターを募集して、各地域で活動してもらうことはどうか。地域住民を巻き込むことによって、子どもたちは地域の大人に育ててもらった意識を持ち、その子どもたちが将来、矢吹に戻ってきてくれるかもしれない。

【Dグループ】
・家庭で担えること：宿題の丸付けや確認。メディアコントロールや情報モラルへの関り。
・地域で担えること：登下校の見守りボランティア。町から募集をかけてもらい、町全体で現在、行っている取り組みを広げるのはどうか。
・学校・地域・家庭で担うこと：奉仕作業を保護者だけで実施できないか。学校の先生が準備を行い、当日はPTA等が中心になって保護者のみで実施する。

【Eグループ】
・下校から次の日の登校までのトラブル等は、先生の勤務時間外は受け付けない。企業などは時間外には音声ガイダンスを流している。学校もそうできたらいいのではないか。また、登下校の見守りをPTAや地域住民等が行っているが、年齢層が高いので、若い世代の方も協力してほしい。















【第３回全体会について】
第３回全体会は書面で開催します。
書面開催に向けて、後半部会の中で次年度のテーマについて協議をお願いします。

(令和９年度のテーマ内容)

① 学校運営協議会全体のテーマ
② 部会ごとのテーマ
③ 部会ごとのテーマと「４つの提言」を活かしたテーマの２本立て

